

Z101r PFS で挑むサイエンス

村山 齊 (東京大学カブリ IPMU)

PFS (Prime Focus Spectrograph) は今までにない大規模な次世代のファイバー多天体分光器で、すばる望遠鏡の大口径と超広視野を生かして、近傍宇宙から最遠方宇宙までサーベイを行うことができる装置である。Hyper Suprime-Cam (HSC) の Subaru Strategic Program (SSP) による imaging と組み合わせる spectroscopic followup のサーベイとなる。宇宙論、銀河形成・進化、銀河考古学の3本の柱を持ち、世界でトップのサイエンスとレガシーデータを生み出すことを目指している。国際協力で建設が進められ、2020年末から2021年はじめに科学観測の開始を念頭に、SSPの提案書も執筆が始まっている。コミュニティの多くに今後の議論に広く参加していただくことを期待し、今までのサイエンスの検討内容を大まかにレビューする。